

# 西荒屋小学校だより

9月学校評価号

校訓 「至誠」

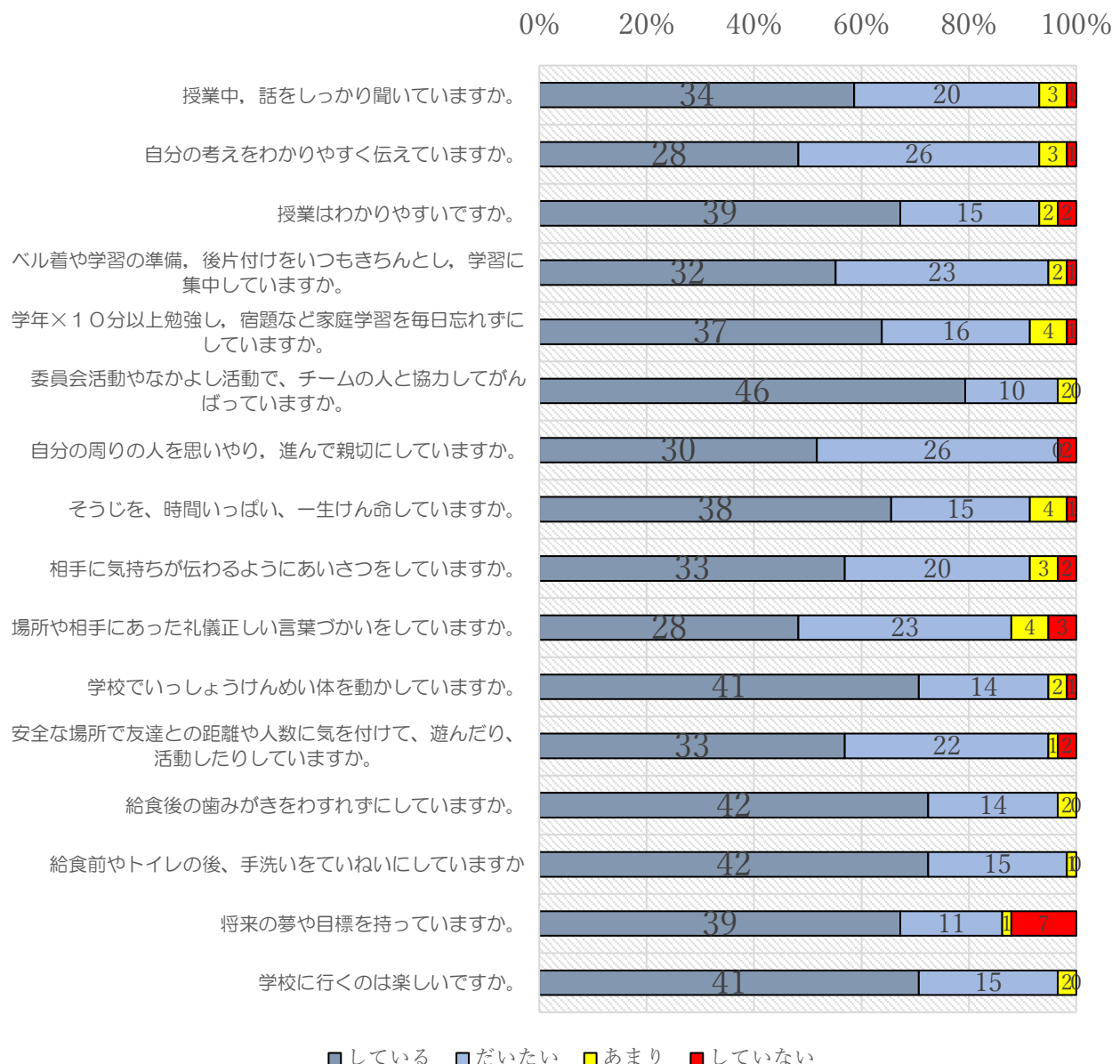
教育目標 「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」

令和2年9月7日 西荒屋小学校

## 前期学校評価アンケート結果について

保護者の皆さまには、ご多用の中、1学期末にアンケートにご協力をいただきありがとうございました。ご回答に加え、本校の教育活動の充実のために建設的なご意見等もいただき重ねてお礼申し上げます。つきましては、前期の児童アンケート・保護者アンケート結果を以下のとおりご報告いたします。

### 2020 児童アンケート前期結果



## ◎肯定的評価の割合が高い項目（A評価＋B評価で95%以上になっている項目）

- ・学校へ行くのは楽しい
- ・ベル着や学習の準備、後片付けをいつもきちんとし、学習に集中している
- ・委員会活動やなかよし活動で、チームの人と協力してがんばっている
- ・自分の周りの人を思いやり、進んで親切にしている
- ・学校で一生懸命に体を動かしている
- ・安全な場所で友だちとの距離や人数に気を付けて、遊んだり活動したりしている
- ・給食後の歯みがきを忘れずにしている
- ・給食前やトイレの後、手洗いをていねいにしている



## ■肯定的評価が低い項目（A評価＋B評価で90%未満になっている項目）

- ・場所や相手にあった礼儀正しい言葉づかいをしている
- ・将来の夢や目標を持っている

### 【学校より】

◎「学校へ行くことが楽しい」と感じている児童は97%でした。昨年度前期結果は86%だったので増加したことは嬉しい成果です。しかし、数名であってもそう感じていない児童がいることを真摯に受け止め、よりいっそう「楽しい授業」「楽しい学校」創りに努めてまいります。

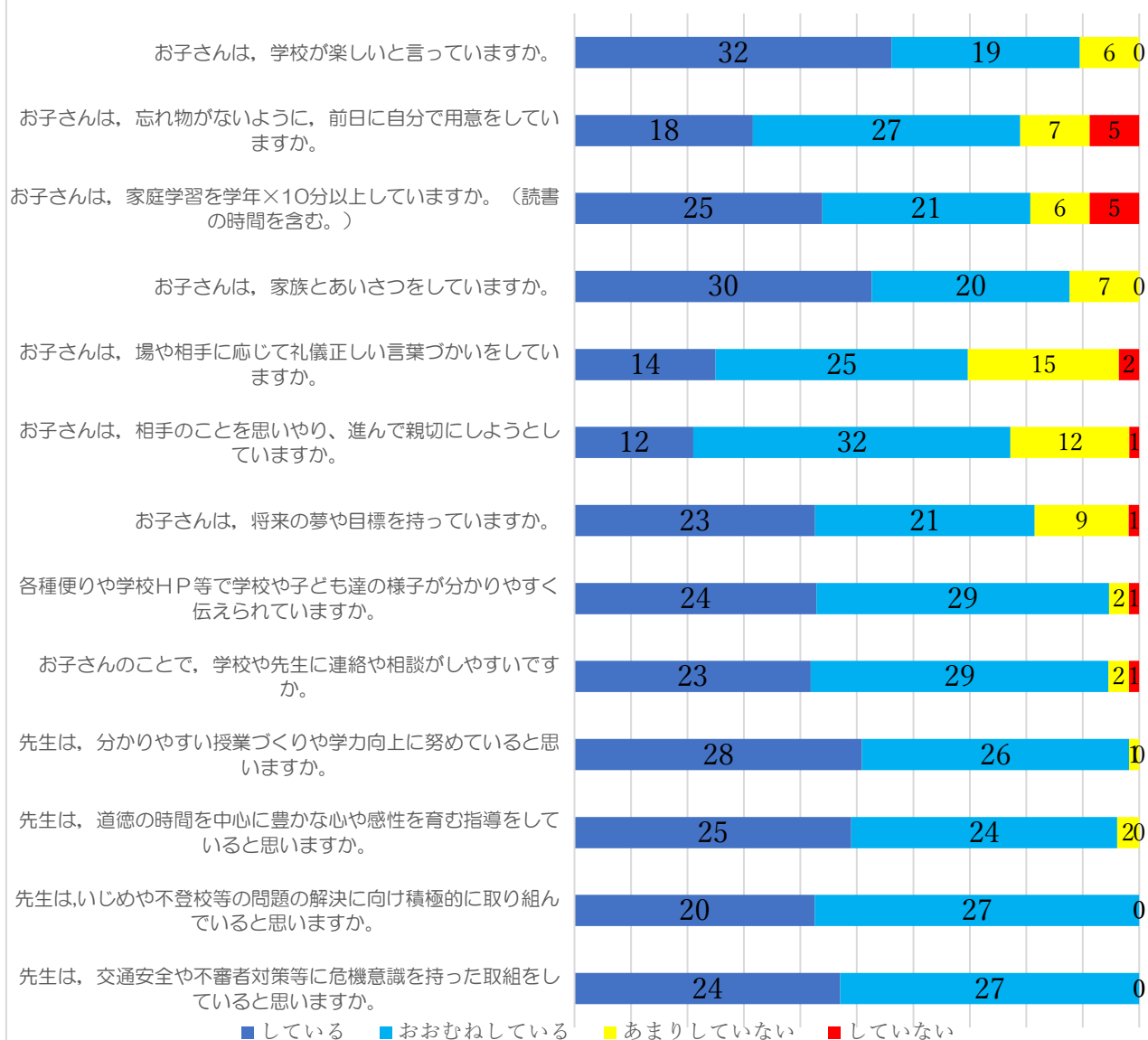
◎コロナ禍であっても児童が「委員会やなかよし活動で、チームで協力できた」「学校でいっしょうけんめい体を動かしている」と振り返ったことは嬉しい成果です。休み時間の体育館は、コロナ以前と同じように、集まった児童みんなでドッチボールをしたりおにごっこをしたりする姿が日常的に見られるようになってきました。また「自分の周りの人を思いやり、親切にしている」の項目も高い評価でした。そうじや休み時間の様子を見てみると、上の学年は自分たちよりも下の学年の児童に対して思いやりのある態度で接するのが、本校では当たり前の姿なのだと感心しています。自分たちがされてきたように自然と下の学年にはするようになることを嬉しく思います。しかし、そのことを当たり前ととらえるのではなく、一つ一つのことを大いに認めることをこれからも大切にしていきたいと思います。また、そんな素敵な姿を家庭の方にも積極的に発信していきたいと考えています。

■「場所や相手にあった礼儀正しい言葉づかいをしている」が少し低くなりました。学年ごとに見ると、低学年がまだできていないと感じているようでした。8月の生活目標に設定し、毎日帰りの会で振り返りを行う等、重点的に取り組みました。継続的に指導していきたいと思います。



## 2020 保護者アンケート前期結果

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### ◎肯定的評価の割合が高い項目（A評価＋B評価で95%以上になっている項目）

- ・各種便りや学校HP等で学校や子どもたちの様子が分かりやすく伝えられている
- ・お子さんのことで学校や先生に連絡や相談がしやすい
- ・先生は、分かりやすい授業作りや学力向上に努めていると思う
- ・先生は道徳の時間を中心に豊かな心や感性を育む指導をしている
- ・先生はいじめや不登校等の問題の解決に向け積極的に取り組んでいる
- ・先生は交通安全や不審者対応等に危機意識を持った取組をしている



### ■肯定的評価が低い項目（A評価＋B評価で80%未満になっている項目）

- ・お子さんは、忘れ物がないように、前日に自分で用意をしている
- ・お子さんは、場や相手に応じて礼儀正しい言葉づかいをしている
- ・お子さんは、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとしている

### 【学校より】

◎コロナ禍で、保護者の皆さまが学校の教育活動を参観することが難しい状況です。そのため、日常的な児童の学校生活の様子を学校HPにアップしています。ぜひご覧ください。

■肯定的評価が低い項目を学年ごとに見ると、どれも低学年（特に1年生）で低い評価となっていました。「前日に自分で準備」や「正しい言葉遣い」は、褒め認めることを大切にしながら、学校と家庭が連携しながら根気強く指導していく必要があります。今後ご協力をお願いいたします。

### ご意見（一部抜粋）

・子どもは、「学校は楽しいし毎日行きたい」と言い毎日登校しております。先生方も毎日玄関まで出てくださり感謝しております。

・アンケートの実施が保護者の意識を高めたり、気付きに結びついていったりすると思いました。西荒屋小学校では、価値観の多様性を認める教育に頑張ってくださいたいです。

・人数の少ない学校だからこそいい面もあるので、その特徴を生かして有意義が学校生活を送ってほしいです。

→少人数であることは本校の大きな特徴であり良さです。コロナによる長期の休校があり、学校再開にあたっては不安もありました。しかし、その中でも感染の状況を見ながら、「子どもたちが行きたい学校」になるよう少人数の本校だからこそできる活動を考え、実施してきました。今後も、コロナ感染対策に十分に配慮しながら、校外学習、出前授業、縦割りなかよし活動等、児童が実際の体験の中でわくわくしながら学べる環境を作っていきたいと考えています。

・横断歩道の線がまだうすいまなので、早くキレイにならないかと思っています。

→昨年度も指摘を受けており、危険箇所として報告と依頼をしてあります。早い時期に改善できるよう働きかけていきます。ご指摘ありがとうございます。

・こんな時代なので、授業参観などはないですが、また、先生方との意見交換などができたらありがたいと思います。

→1学期末によく個人懇談会を開催し、保護者の方と実際に顔を見てお話ができて有意義な時間を持つことができました。授業参観については、今後密にならないように開催方法を検討し実施したいと前向きに考えております。

・積極的にいろいろな人にあいさつができるようになってほしいです。

→現在は、熱中症対策を優先しマスクなしでの登下校をしています。そのため、昨年度までのような「大きな声」でのあいさつが難しくなっています。しかし、心が伝わるあいさつを考えさせ、9月は「相手の目を見て」「先に」を重点的に取り組んでいます。できたら「あいさつの木」にシールをはる等児童が楽しみながら、あいさつができるように工夫しています。家庭や地域の皆さんと協力しながら今後もあいさつ指導に努めてまいります。



※個人に関わるご意見につきましては個別に対応させていただきます。

今後お気づきのことがありましたら遠慮なく担任もしくは学校までお話ししてくださいますようお願いいたします。